エコアクション２１

環境活動レポート

活動期間：令和７年４月～令和８年３月



発行：令和８年７月３１日

テムズ中日株式会社

TEMs
Tems Chunichi co.,ltd.

1. 組織の概要

1） 事業者名及び代表者名

テ ム ズ 中 日 株 式 会 社
代表取締役社長　吉田　一仁

2） 所在地

本　社	〒471-0832　豊田市山之手10丁目23番9
（松平分室）	〒444-2215　豊田市中垣内町楠8番、39番
（岡崎倉庫）	〒444-2235　岡崎市大門4丁目17番7
豊橋支店	〒441-8061　豊橋市藤沢町93番地
静岡営業所	〒411-0917　静岡県駿東郡清水町徳倉1881-1

3） 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者　：　総務部部長　児玉　奈美
担　当　者　　：　EA21事務局　永久保　早紀（総務部）
連　絡　先　　：　TEL　0565－28－7551
　　FAX　0565－28－5003

4） 事業活動

総合ビルメンテナンス業務・総合工事業務・廃棄物処理業務[詳細次P]

5） 事業の規模

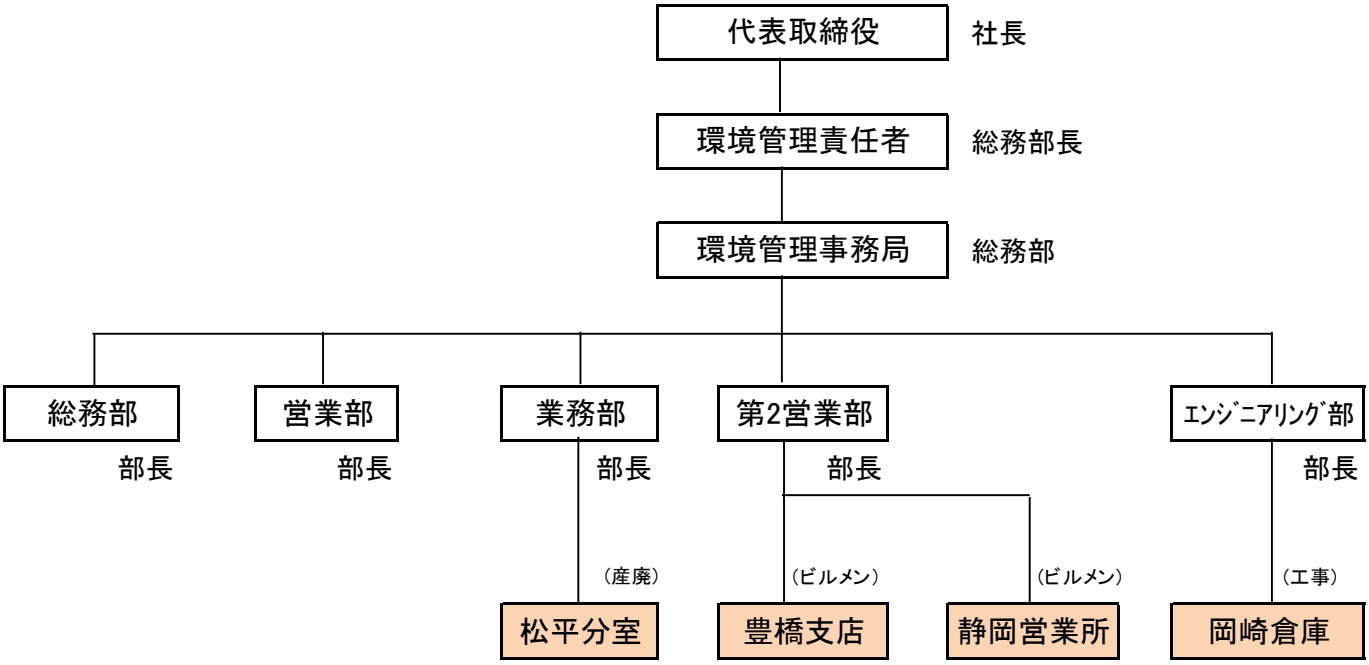
・設立年月日　：　昭和41年11月9日
・資　本　金　：　3，000万円
・売　上　高　：　1，641百万円（令和7年4月～令和8年3月）
・従業員数　：　187名（令和8年3月31日現在）

6） 認証・登録の範囲

事業活動
総合工事業務・廃棄物処理業務・総合ビルメンテナンス業務
{詳細次P}

本社
松平分室（業務部産廃部門＝積替保管施設・車両置場）
岡崎倉庫（エンジニアリング部資機材専用倉庫）
豊橋支店
静岡営業所

7)　エコアクション21　実施体制図



代表取締役	・環境方針の決定 ・環境管理責任者の任命 ・全体の評価及び見直し指示
環境管理責任者	・マネジメントシステムの監視 ・パフォーマンスの監視 ・遵守評価の実施
環境管理事務局	・環境関連外部との窓口 ・文書、記録の管理 ・環境計画立案、調整 ・部門への計画推進指示及び進捗管理、データ管理 ・教育訓練の実施管理
部門責任者	・部門における環境計画の立案、遂行管理 ・実施状況の確認・記録管理
部門担当者	・部門の計画の実施 ・自己の役割の認識

8） 廃棄物処理業務概要

①許可の内容

廃棄物収集運搬業

自治体	許可番号	許可年月日	有効年月日	区別	品目数	許　可　品　目
豊田市	第1035号	令和7年7月4日	令和9年7月3日	一廃	1	ごみ
岡崎市	第10162号	令和7年7月30日	令和9年7月27日	一廃	1	ごみ
みよし市	7み令生環第46-5号	令和8年4月1日	令和10年3月31日	一廃	1	事業系一般廃棄物
愛知県	第02300035544号	令和6年5月27日	令和13年5月23日	産廃（優良）	14	（積替え、保管除く）燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃ｱﾙｶﾘ、廃ﾌﾟﾗｽﾃｯｸ類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類
	第02350035544号	令和8年6月1日	令和15年5月31日	特管（優良）	5	（積替え、保管除く）引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃ｱﾙｶﾘ、感染性産業廃棄物、特定有害廃石綿等
豊田市	第09010035544号	令和6年7月2日	令和13年6月28日	産廃（優良）	11	（積替え、保管除く）燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃ｱﾙｶﾘ、廃ﾌﾟﾗｽﾃｯｸ類、繊維くず、動植物性残さ、ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、（水銀使用製品産業廃棄物含む）
					6	（積替え、保管を含む）廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、紙くず、木くず、金属くず、ｶﾞﾗｽくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（水銀使用製品産業廃棄物含む）

②保有車両

	寸　法	最大積載量	台　数	備　考
バン	4,690×1,690×1,980	1250kg	1台	
パッカー車（塵芥車）	5,870×2,090×2,440	2700kg	1台	
パッカー車（塵芥車）	5,770×2,090×2,400	3050kg	1台	
揚泥車（清掃車）	6,860×2,190×2,710	2180kg	1台	
コンテナ専用車（脱着装置付）	6,140×2,210×2,400	3900kg	1台	
コンテナ専用車（脱着装置付）	5,860×2,200×2,400	3950kg	1台	
キャブオーバー	8,140×2,230×3,020	2550kg	1台	
キャブオーバー	5,990×1,880×2,150	2000kg	1台	

③積替保管施設

・所在地　愛知県豊田市中垣内町楠8番、39番

・面　積　240.28㎡（保管面積12㎡）

・積替保管を行う産業廃棄物の種類（6品目－水銀使用製品産業廃棄物含む）

・廃プラスチック類（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）

・紙くず、木くず、金属くず（自動車等破砕物を除く。）

・ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）

・がれき類（石綿含有産業廃棄物を除く。）

・保管上限　9.97㎥

・高　さ　1.3m

④産業廃棄物の受入量・運搬量（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

文書番号①	単位	受入量	運搬量①	運搬量②	備考
廃プラスチック類	kg	302,745	274,325	28,420	
金属くず	kg	233,986	192,153	41,833	
ガラス・陶磁器くず	kg	2,535	1,435	1,100	
紙くず	kg	5,790	4,980	810	
木くず	kg	13,325	9,190	4,135	
混合物	kg	49,921	48,031	1,890	
蛍光灯（水銀使用製品産業廃棄物）	kg	585	585	－	運搬量①＝直送運搬量 運搬量②＝積替保管量
がれき類	kg	9,358	－	－	
廃油	kg	13,736	－	－	
廃アルカリ	kg	138	－	－	
廃酸	kg	－	－	－	
引火性廃油	kg	34	－	－	
汚泥	kg	27,482	－	－	
廃電機械器具	kg	47	－	－	
乾電池	kg	216	－	－	

⑤ 一般廃棄物の運搬量（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

廃棄物等の種類	単位	運搬量	備考
可燃	kg	73,150	焼却
段ボール	kg	28,680	資源
雑誌	kg	7,010	資源
新聞	kg	220	資源
シュレッダー古紙	kg	4,210	溶解
機密書類	kg	3,280	溶解/焼却
飲料缶	kg	45	資源
飲料瓶	kg	135	資源
鉄くず（有価客先返却）	kg	49,205	有価
家電リサイクル　冷蔵庫	台	11	－
家電リサイクル　冷凍庫	台	－	－
家電リサイクル　洗濯機	台	3	－
家電リサイクル　乾燥機	台	－	－
家電リサイクル　テレビ	台	2	－
家電リサイクル　エアコン	台	－	－
家電リサイクル　ノートPC	台	－	－
家電リサイクル　DVD	台	－	－
家電リサイクル　スピーカー	台	－	－
家電リサイクル　プリンター	台	－	－

2. 環　境　方　針

基　本　理　念

テムズ中日株式会社は、「資源は有限」との地球資源保護の重要性を認識し継続的にマネージメントシステムの改善を図り地球環境に優しく、地域社会の環境保全に貢献する企業として行動します。

環　境　方　針

当社の事業活動であるビルメンテナンス業務、工事業務、産業廃棄物処理業務の事業活動を通じて、環境保全に及ぼす影響を検討し、環境負荷の低減と汚染の予防を図り、継続的改善に努めます。

1. 事業活動で使用する水、電気及び燃料等の省エネルギーを推進し二酸化炭素の発生を抑制します。

2. 環境に優しい資機材を利用し、顧客にも積極的に提案いたします。

3. 事業活動に当たり、自然環境や生態系への影響を配慮して環境保全対策に取り組みます。

4. 環境目的及び目標を定め、その実現を図り、また定期的な見直しを図ります。

5. 当社の事業活動で適用される、環境関連の法令・条例等を順守します。

6. この環境方針を、全従業員に周知徹底し、環境への意識向上を図ると共に、環境情報を積極的に公開し、社会とのコミュニケーションを図ります。

令和7年4月1日

テムズ中日株式会社

代表取締役社長　吉田一仁

3. 環境活動目標

「事業別/拠点別」目標値				R5年度実績 2023年4月～ 2024年3月	R6年度目標 2024年4月～ 2025年3月	R7年度目標 2025年4月～ 2026年3月	R8年度目標 2026年4月～ 2027年3月
基準と年度目標				基準	基準数値の −1%	基準数値の −2%	基準数値の −3%
取組	項目		単位	−	−	−	−
温室効果ガス排出量の削減	全社CO2総排出量		kg−CO2	123,841	122,603	121,364	120,126
使用エネルギーの削減	電力使用量		全社	50,735	50,228	49,720	49,213
		本社	kWh	36,823	36,455	36,087	35,718
		豊橋支店		3,787	3,749	3,711	3,673
		静岡営業所		3,840	3,802	3,763	3,725
		工事業務/岡崎		2,066	2,045	2,025	2,004
		産廃業務/松平		4,219	4,177	4,135	4,092
	ガソリン・軽油		全社	42,876	42,447	42,018	41,590
		本社	L	18,965	18,775	18,586	18,396
		豊橋支店		5,712	5,655	5,598	5,541
		静岡営業所		2,089	2,068	2,047	2,026
		工事業務/岡崎		6,067	6,006	5,946	5,885
		産廃業務/松平		10,043	9,943	9,842	9,742
廃棄物の削減	一廃	本社	kg	1,379	1,365	1,351	1,338
		豊橋支店		10	9.9	9.8	10
		静岡営業所		1	1	1	1
		工事業務/岡崎		404	400	396	392
		産廃業務/松平		567	561	556	550
	産廃	本社	kg	744	737	729	722
		工事業務/岡崎		5,700	5,643	5,586	5,529
		（リサイクル率の向上）	%	82%	80%以上		
		産廃業務/松平	kg	610	604	598	592
総排水量の削減	水使用量	本社	㎥	234	232	229	227
		豊橋支店		10	10	10	10
		静岡営業所		−	−	26.7	26.4
		工事業務/岡崎		23	22.8	22.5	22
		産廃業務/松平		117	116	115	113
グリーン購入	購入時にグリーン商品を確認し、環境に配慮した商品の購入を検討する。						
化学物質	化学物質（PRTR対象）は使用していない。その他洗剤等は適量・適正管理とする。						
環境保全活動の実施	緊急事態訓練		各拠点	1	1	1	1
	環境セミナー・展示会等への参加		本社	2	2	2	2

中部電力のCO2排出係数0.426kg−CO2/kWhを使用。
東京電力のCO2排出係数0.442kg−CO2/kWhを使用。（静岡営業所）

4. 環境活動計画の取組内容（今期　令和7年度/60期）

◎：継続

目標	担当部門	実施項目（手段）	取組の所在地				
			本社	松平	岡崎	豊橋	静岡
電気使用量の削減	全部門	不在個所の照明消灯	◎	◎	◎	◎	◎
		不在個所の空調OFF	◎	◎	◎	◎	◎
		昼休みの消灯	◎	◎	◎	◎	◎
		不在時のPCスリープモード	◎	◎	◎	◎	◎
		空調温度管理	◎	◎	◎	◎	◎
		空調機の定期点検・フィルターの定期清掃	◎	◎	◎	◎	◎
		電気使用量の把握	◎	○	○	○	○
	本社	電気湯沸器の夏季停止	◎	ー	ー	ー	ー
ガソリン・軽油使用量の削減	全部門	エコ運転の推奨（急加速しないスロースタート）	◎	◎	◎	◎	◎
		車両整備の実施（こまめにオイル交換）	◎	◎	◎	◎	◎
		アイドリングストップの実施	◎	◎	◎	◎	◎
		ガソリン給油量の車両ごと把握	◎	◎	◎	◎	◎
		走行距離の車両ごと把握	◎	◎	◎	◎	◎
		ルートの見直し（最短距離・効率的な順序）	◎	◎	◎	◎	◎
		エコ車両への切替（HV車等低燃費車）	◎	◎	◎	◎	◎
廃棄物排出量の削減	全部門	分別ルールの徹底	◎	◎	◎	◎	◎
		定期的な排出量の把握	◎	◎	◎	◎	◎
	産廃部門	マニフェストの管理	ー	◎	ー	ー	ー
節水の積極的推進	全部門	手洗い等における社員の節水要請	◎	◎	◎	◎	◎
		水使用量の把握	◎	○	○	○	○
	全部門	洗車時の節水	ー	◎	ー	ー	ー
グリーン購入の積極的推進	本社	環境に配慮した商品の購入を随時検討する	◎	ー	ー	ー	ー
化学物質の管理	全部門	新たな資材購入の際は必ずSDSを確認する	◎	◎	◎	◎	◎
		在庫の管理を徹底し、使い切ってから購入	◎	◎	◎	◎	◎
環境保全活動	全部門	環境関連行事・教育の参加	◎	◎	◎	◎	◎
		緊急事態対応訓練	◎	◎	◎	◎	◎
		毎月会議での情報展開	◎	◎	◎	◎	◎
		関係法令の遵守	◎	◎	◎	◎	◎

5. 環境目標の実績結果と評価 （今期 令和7年度）

「事業別/拠点別」目標値と実績結果評価				R5年度実績 2023年4月～ 2024年3月	R7年度目標 2025年4月～ 2026年3月	R7年度実績 2025年4月～ 2026年3月	基準比増減 評価 コメント
基準と年度目標				基準	基準数値の −2%	-	-
取組	項目		単位	−	−	-	-
温室効果ガス排出量の削減	全社CO2総排出量		kg−CO2	123,841	121,364	118,963	○
使用エネルギーの削減	電力使用量		全社	50,735	49,720	44,908	○
		本社	kWh	36,823	36,087	32,054	
		豊橋支店		3,787	3,711	3,618	
		静岡営業所		3,840	3,763	4,589	
		工事業務/岡崎		2,066	2,025	1,832	
		産廃業務/松平		4,219	4,135	2,815	
	ガソリン・軽油		全社	42,876	42,018	41,465	○
		本社	L	18,965	18,586	19,136	
		豊橋支店		5,712	5,598	6,500	
		静岡営業所		2,089	2,047	1,211	
		工事業務/岡崎		6,067	5,946	4,830	
		産廃業務/松平		10,043	9,842	9,788	
廃棄物の削減	一廃	本社	kg	1,379	1,351	1,176	○
		豊橋支店		10	9.8	0	
		静岡営業所		1	1	0	
		工事業務/岡崎		404	396	272	
		産廃業務/松平		567	556	260	
	産廃	本社	kg	744	729	438	○ 松平で片付けがあり鉄くずが多く出た。全体の合計値は目標達成
		工事業務/岡崎		5,700	5,586	3,627	
		産廃業務/松平		610	598	1,281	
総排水量の削減	水使用量	本社	㎥	234	229	223	× 今期は静岡営業所移転後初めて1年集計したが想定よりも使用が多かった。豊橋・松平も増加
		豊橋支店		10	9.8	12	
		静岡営業所		−	26.7	37	
		工事業務/岡崎		23	22.5	17	
		産廃業務/松平		117	115	124	
グリーン購入	購入時にグリーン商品を確認し、環境に配慮した商品の購入を検討する。						○
化学物質	化学物質（PRTR対象）は使用量が少ないため適正管理とする。						○
環境保全活動の実施	緊急事態訓練		各拠点	1	1	1	○
	環境セミナー・展示会等への参加		本社	3	2	3	○

中部電力のCO2排出係数0.426kg−CO2/kWhを使用。
東京電力のCO2排出係数0.442kg−CO2/kWhを使用。（静岡営業所）

○:目標数値達成　△:目標数値～基準値　×:基準値より多い

6. 環境活動計画の取組内容(次期　令和8年度)

◎：継続　　○：新規

目標	担当部門	実施項目（手段）	取組の所在地				
			本社	松平	岡崎	豊橋	静岡
電気使用量の削減	全部門	不在個所の照明消灯	◎	◎	◎	◎	◎
		不在個所の空調OFF	◎	◎	◎	◎	◎
		昼休みの消灯	◎	◎	◎	◎	◎
		不在時のPCスリープモード	◎	◎	◎	◎	◎
		空調温度管理（夏期27°C、冬期21°C）	◎	◎	◎	◎	◎
		空調機の定期点検・フィルターの定期清掃	◎	◎	◎	◎	◎
		電気使用量の把握	◎	◎	◎	◎	◎
	本社	電気湯沸器の夏季停止	◎	ー	ー	ー	ー
ガソリン・軽油使用量の削減	全部門	エコ運転の推奨（急加速しないスロースタート）	◎	◎	◎	◎	◎
		車両整備の実施（こまめにオイル交換）	◎	◎	◎	◎	◎
		アイドリングストップの実施	◎	◎	◎	◎	◎
		ガソリン給油量の車両ごと把握	◎	◎	◎	◎	◎
		走行距離の車両ごと把握	◎	◎	◎	◎	◎
		ルートの見直し（最短距離・効率的な順序）	◎	◎	◎	◎	◎
		エコ車両への切替（HV車等低燃費車）	◎	◎	◎	◎	◎
廃棄物排出量の削減	全部門	分別ルールの徹底	◎	◎	◎	◎	◎
		定期的な排出量の把握	◎	◎	◎	◎	◎
	産廃部門	マニフェストの管理	ー	◎	ー	ー	ー
節水の積極的推進	全部門	手洗い等における社員の節水要請	◎	◎	◎	◎	◎
		水使用量の把握	◎	◎	◎	◎	◎
	産廃部門	洗車時の節水	ー	◎	ー	ー	ー
グリーン購入の積極的推進	本社	環境に配慮した商品の購入を随時検討する	◎	ー	ー	ー	ー
化学物質の管理	全部門	新たな資材購入の際は必ずSDSを確認する	◎	◎	◎	◎	◎
		在庫の管理を徹底し、使い切ってから購入	◎	◎	◎	◎	◎
環境保全活動	全部門	環境関連行事・教育の参加	◎	◎	◎	◎	◎
		緊急事態対応訓練	◎	◎	◎	◎	◎
		毎月会議での情報展開	◎	◎	◎	◎	◎
		四半期に１回のエネルギー使用量展開	○	ー	ー	ー	ー
		関係法令の遵守	◎	◎	◎	◎	◎

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

1）適用となる主な関係法規

令和8年3月31日

法令・規制名称	該当する活動	順守状況
建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）	各種登録業の維持により建築物における衛生的な環境の確保を図る	○
豊田市環境基本条例	廃棄物発生の削減とリサイクルによる再資源化、廃棄物発生時の適正な処理	○
豊田市一般廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物排出の適正処理、マニフェストの管理、契約時第一種指定化学物質の情報の記載	○
PRTR法	SDS制度を利用し資材購入時の検討材料とする（清掃時の洗剤購入等）	○
建設リサイクル法	元請工事の建築・解体工事等における計画・施行班への教育	○
家電リサイクル法	自社廃棄物における指定家電の廃棄に当たり適正な処理を行う	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車のリサイクルの周知	○
労働安全衛生法	関連諸法令に対する技能・資格を保持する社員の育成	○
消防法	危険物取扱者等の資格者育成・保持	○
改正フロン排出抑制法	事務所業務用エアコンの点検管理	○
水質汚濁防止法	排水の適正処理（油水分離層の管理等）	○
騒音規制法	事業活動に伴って発生する騒音についての規制	○

2）違反、訴訟等の有無

環境関連法規及び条例への違反はありません。

なお、過去3年間において訴訟及び関係機関等からの指摘はありません。

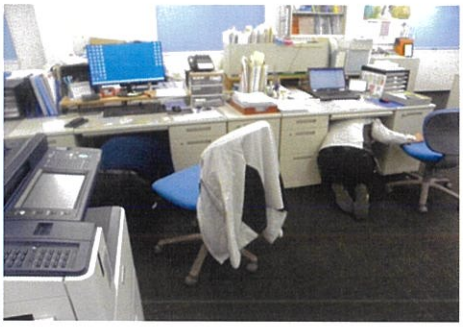
8. 各種緊急対応訓練風景

1. 火災訓練





2. 地震訓練


3. 油漏れ訓練





９．代表者による全体評価と見直しの結果

１．全体評価

昨期は電力の1%削減の目標は未達となっておりましたが、今期は11%削減と大きく消費電力を減少させることができました。

その大きな要因には昨期末に本社と松平分室の蛍光灯をLED電灯に全面刷新したことが挙げられます。設備投資に対する大きな見返りが得られたと思います。

今年度においても、空調機の温度管理の徹底や上記のLED化による電力削減が功を奏し、温室効果ガス排出量は基準値を達成することができました。

一方でガソリン、水道使用量、廃棄物量は基準値の達成ができませんでした。

ガソリン使用料は車両が増えていること、水道使用量は新しい静岡営業所の通年稼働が影響していると考えられます。

今後は引き続き環境に配慮しながら事業活動を進めていく所存でございますが、今期のLED化のような大きな出来事がなかったとしても、毎日の小さな取組みで来期もCO2の削減に取り組んでいきたいと考えております。

２．変更の必要性について

	項目	変更の必要性	変更有の場合の指示事項
1	環境方針	有　(無)	
2	環境項目	有　(無)	
3	環境活動計画	有　(無)	
4	実施体制	有　(無)	

令和８年　３月　31 日

代表取締役社長　　吉田一仁